

やつしろまちづくりカフェ

実施報告書

I まちづくりカフェの概要	1
II 八代市のいいところ、悪いところ.....	4
1 「いいところ」と「いいところを伸ばすため」には	4
2 「悪いところ」と「悪いところを解決するため」には	11
III 10年後の「八代市」	18
1 政策分野別将来像.....	18
2 八代市全体の将来像.....	22

平成 29 年 3 月

八 代 市

Ⅰ まちづくりカフェの概要

1 まちづくりカフェの目的

これからのまちづくりの方向について、政策形成段階から市民の皆様の生の声を聞き、意見を取り入れた計画づくりを進めることを目的として実施しました。

また、まちづくりカフェでは、参加者同士が八代市の今後のまちづくりについて、自由、活発に話し合うことで、“今後の市民と行政による協働のまちづくりのきっかけ”をつくっていただくことも目的としており、ワークショップの手法を用いて実施しました。

2 ワークショップとは

ワークショップとは、参加メンバー同士で八代市のまちづくりについてのアイデアを出し合い、まとめ上げる集まりで、会議の一種と捉えることができます。

一般の会議と異なるのは、以下のとおりです。

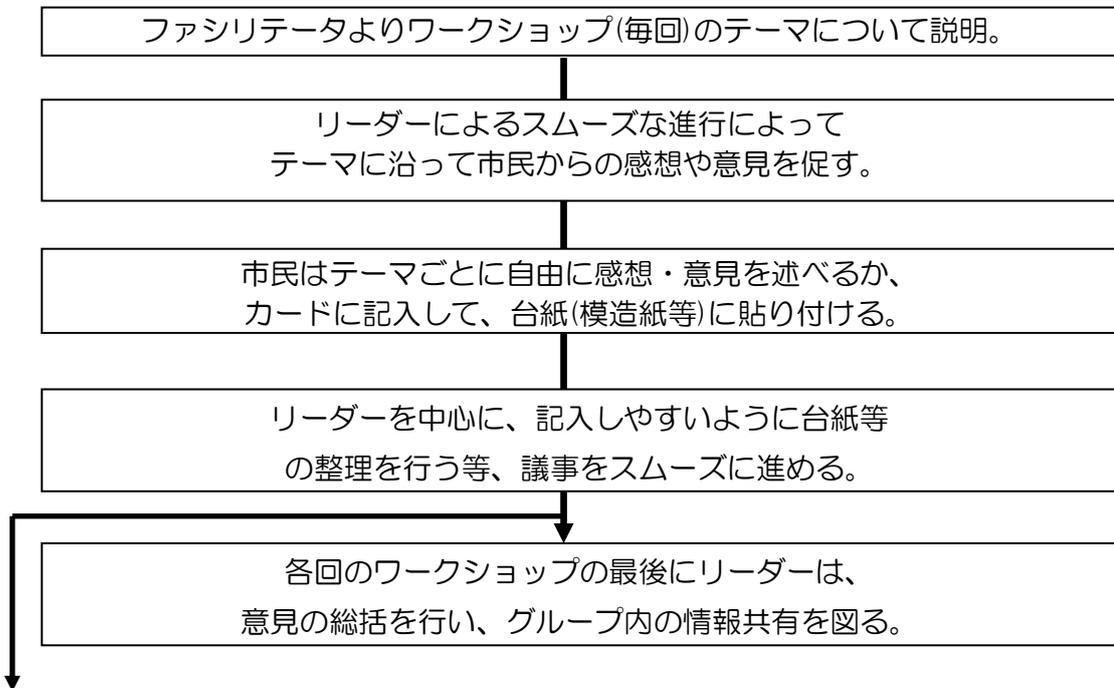
- 参加者は、みんなが気軽に自由な意見を言いやすいように協力し合うこと
- 原則形式張っていないこと
- みんなの意見をできるだけ取り上げて整理し、八代市のまちづくりについて、その意見をまとめることに焦点をおいていること
- ただし、まとめた結論を完璧な形では求めていること

大切なことは、以下のとおりです。

- 参加者全員が自分の意見を言うことができるようにすること（他の参加者と重複した意見でもかまいません）
- 各自の自由な意見や発想を途中で批判しないこと
- 行政等への一方的な批判や要求の場にしないこと
- 各自の意見に耳を傾け、これからの八代市のまちづくりに役に立つ意見として、グループの中でまとめあげていこうと協力すること

3 ワークショップの手法について

今回のワークショップでは、カードへの記入を行い、それを分類する方法（KJ法）を用いて行いました。進め方は以下の通りです。



- 各グループの議論が一通り終わった段階で、ワールドカフェを実施します。
- ワールドカフェは、何人かの会議での討論方法の一つで、与えられたテーマについて各テーブルで数人がまず議論し、次にリーダー以外は他のテーブルへ移動し、そのリーダーから前の議論の要約・要旨を聞いて、さらに議論を深め、これを、各テーブルのリーダーがまとめの報告を全員にする方法で、参加者が少人数で自由に発言をしながら、他の人々の様々な意見にも耳を傾ける機会を増やせる手法です。

さらに今回は、楽しい雰囲気の中意見を自由に出していただくため、次の3つの約束を参加者全員に守っていただくようお願いしました。

～まちづくりワークショップ3つの約束～

- 一. 明るい未来を語る
- 一. 人を褒める
- 一. 人の意見を否定しない



4 グループ分け

参加者を年齢別に 10 のグループに分けました。

5 開催回数と内容

開催は、10月22日(土)、11月12日(土)、11月27日(日)の3回開催しました。各回のテーマと内容は以下のとおりです。

なお、第1回目は、冒頭、全体会議として、「メンバー紹介」「ワークショップの役割・スケジュール等の説明」「総合計画の概要説明」「グループリーダーの選出」「アイスブレイク」等オリエンテーションを行いました。

区 分	主な内容
第1回 10月22日(土) 10:00	【テーマ：八代市の現状を語ろう】 ●八代市の「いいところ」、「悪いところ」について ・八代市「いいところ」「悪いところ」について、主要政策分野ごとに洗い出し、カードに記入する。 ●ワールドカフェの実施
第2回 11月12日(土) 10:00	【テーマ：まちづくりの取組を考えよう】 ●第1回目の続き ●「いいところ」を伸ばす、「悪いところ」を解決する方法について ・「いいところ」を伸ばす、「悪いところ」を解決するための方策を意見交換し、カードに記入して、該当するところに貼り付ける。 ●ワールドカフェの実施 ●グループリーダーによる成果発表
第3回 11月27日(日) 10:00	【テーマ：八代市の将来について語ろう】 ●10年後の将来の姿について ・第2回目の解決方策等を踏まえて、主要政策分野ごとの約10年後の八代市の姿を、市民だれもがイメージしやすいように、キャッチフレーズの形で整理する。 ●ワールドカフェの実施 ●グループリーダーによる成果発表

II 八代市のいいところ、悪いところ

1 「いいところ」と「いいところを伸ばすため」には

産 業	
いいところ	いいところを伸ばすために
【農水産物全体】 ・八代ならではの特産品等が 沢山あること。 (八代海の魚介類、青のり、 トマト、晩白柚等)	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバレーの活用や農産物のブランド化と八代港の活用 ・インターネット飲食サイト等での口コミによる情報拡散 ・SNS(インスタグラム含む)の活用 ・八代の特産品をまとめて販売(パッケージ等に「やつしろ」の名前を入れこむ)したり、お取り寄せできるインターネットサイトの開設 ・県外客向けのお勧め料理屋をまとめたホームページ ・晩白柚のカタカナ読み ・新八代駅からのよかところ物産館までの無料送迎バス ・くまモンのような「八代」の営業マンの創出 ・マスコミ、タレントを活用したPR ・オイスターハウスのPRと周辺整備
【トマト】 ・トマトは日本で誇れる	<ul style="list-style-type: none"> ・トマト主体のイタリアンレストランを誘致する ・観光用として有名人に塩トマト等を食べさせる動画や八代のPR動画のインターネットを通じた配信 ・八代港を活用した世界への輸出 ・トマトフェスタの規模の拡大 ・八代ブランドのトマトケチャップ、トマトジュースの企業化 ・トマピンを第2のくまモン ・レシピ本の作成とPR
【イ草】 ・い草が有名	<ul style="list-style-type: none"> ・イ草の伝統を守りつつ、加工製品(ベンチ等)を増やし、PR強化と流通ルートの拡大(CM、雑誌)
【産業振興】 ・農業が八代を支えている	<ul style="list-style-type: none"> ・ITを活用したセールス ・農家に就職するための支援と副業農家の増加対策 ・農産物の産地化、行政と農業団体で販売促進及びPR
・大企業がある	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用形態の正社員化を図り、雇用を拡大

<p>【観光資源全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭り、全国花火、妙見祭、自然景観等みどころたくさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備（大型バスの通る様な）や交通網の整備 ・花火、祭り前後日のイベント開催による宿泊客増対策 ・季節にあわせたイベント開催及びPR 春花見八代宮の桜、夏花火、秋五家荘の紅葉、冬イルミネーション ・農家宿泊等体験（田植え等）ツアー ・テレビや映画のロケ地に使ってもらう
<p>【温泉】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・露天風呂をつくる ・温泉街の空き店舗の前に出店をするテントを張って週一等朝市や夜市等八代全域から出店者を集める ・JRAの客を呼び込むキャンペーンを行う ・ランチ、体験、土産等と温泉をセットにする ・良い泉源等温泉地のPR ・日奈久断層の観光資源としての開発 ・毎月、温泉の割引券付きのイベントを計画する ・温泉手形の発行によるリピーターの確保 ・湯治場等滞在型への移行 ・空き家対策としての民泊の推進
<p>【花火大会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保 ・渋滞解消の方策 ・おもてなしの強化
<p>【五家荘】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五家荘のほたる狩りツアー ・五家荘「ツールド八代」九州大会として開催
<p>【妙見祭】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妙見祭の常設展示館設置による通年型の集客 ・妙見祭のメインの通りの舗装 ・妙見祭に併せた上宮、中宮、下宮ツアーの開催
<p>【クルーズ船と外国人】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社との提携等による英語、中国のパンフレットの作成や通訳の増員 ・八代港を使った県南（人吉、水俣）の物産の輸出 ・大型船の来航と五ヶ家荘の観光の連携
<p>【観光資源その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八竜天文台がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・天文台のバンガロー等宿泊施設のPR ・市報の市民カレンダーや市のホームページに天体イベント（～流星群とか日食とか）を載せたり、イベントをツアーで組む
<ul style="list-style-type: none"> ・3333段の階段がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段をのぼる大会をする
<ul style="list-style-type: none"> ・日本三大急流球磨川がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川下りの規模拡大 ・川の日を決めて川祭りイベント（カヌー、ラフティング等）を行う
<ul style="list-style-type: none"> ・島がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外から客を呼び込む無人島を使った体験ツアーの企画(子どもたちとの企画や宿泊等)
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の近くに無料駐車場を増やす。

その他のいいところ

- 多人口都市と比べ人がおおらかで働きやすい
- 店に並ばなくても入れる
- 夏目友人帳とめだかボックスの聖地（舞台や地名が関係）
- ゆめタウン、ジャスコがある
- 肥後の引き倒しがある
- スリーデーマーチ等のイベントがある
- 大島から見る夕日がとても美しい
- 旅行から帰って八代平野を見るとほっとする
- 物価が安い
- 八代城跡がある
- 八代市商工会では八代市5支部各商工会でHPを作り、商店の紹介がある

都市基盤

いいところ	いいところを伸ばすために
【交通網】 ・九州の中心 ・縦横に道路が整備	・中心という利点を活かして更なる企業誘致
・交通の拠点となる、駅、港等がある	・駅・港を結ぶ交通網の整備 ・新八代港に傘鉾を飾る ・人・物流・観光等の活性化のため天草・八代間に橋をかける ・港と駅に朝市を開いて集客する ・八代、新八代駅発の観光バスを増やす ・九州南部拠点として八代IC近辺に流通団地を整備
・平地が多く自転車移動が楽 ・自転車好きにとってはいい坂道がある	・河川敷のサイクリングロードやハイキングコースの充実
・ユメバス、みなバス等循環バスが低料金で、特に高齢者は助かる ・市民の足としての定期バスが便利です	・少なくとも旧市内までは、低料金の範囲を広げる ・高齢者向けの割引制度をつくる
【港湾】 ・八代港がある	・輸出・輸入量を増やす ・八代から国内外に旅行できるようにする
【住環境】 ・住むのに適している。 ・土地が広くてのびのび生活できる	・空き家調査の情報提供をする ・住みやすさをアピールする

その他のいいところ

- 九州縦置中心である
- 熊本市まで1時間以内

- お店の駐車場が広い。
- カギをかけなくてもドロボウが入らない。(入りにくい)
- 県を横断するほど広い土地。

生活環境	
いいところ	いいところを伸ばすために
【安全・安心】 ・消防署の距離感や消防団による活動 ・防災は防災計画にそって進めている ・防犯において治安が悪くない	・安心、安全な町をアピールする ・自主防災予算の充実 ・小中学校の防災訓練への地域住民の参加促進 ・地域の防災意識を高める ・防犯灯のLED化の実現
【上水】 ・水がおいしい。 ・水不足になりにくい	・「日本三急流球磨川の伏流水」として中国等海外も含めインターネットで販売する ・八代の水を使った飲み物の開発 ・水資源を大切に守っていく
【自然環境】 ・山、平野、海等恵まれた環境	・広大な平野を活用した企業誘致 ・海の浄化 環境整備 ・太陽光を移設する ・自然を守り、育てていく団体の育成

その他のいいところ

- ガソリンが安い。
- ゴミの分別が簡単
- リサイクルの作業が各地域で協力できている
- 用排水が分かれている
- 水害が少ない
- カギをかけなくても空き巣に入られる心配が少ない

健康・福祉

いいところ	いいところを伸ばすために
【福祉全体】 ・福祉対策は全体的に良い	・団塊世代の2025年問題を見据える ・社協を中心に民間を巻き込んだ福祉対策を構築する
【高齢者】 ・高齢者が多く、老人力も高い	・子供会と老人会等の交流会を増やす ・アクティブシニアの活用場として、チームを作り、政策等の助言をする ・昔の遊びを教える等寺子屋の先生を高齢者が担当する ・高齢者が参加できるイベントを増やす ・高齢者の共同畑を作る
・介護施設が多い	・施設での内容の充実
・老人いきいきサロンが伸びつつある	・サロンへの若い人の加入促進と魅力あるサロン運営
【子育て】 ・子供は宝。子供を皆で育てよう	・婚活事業に力を入れる
・保育園に通ってない子の支援センターがある	・制度としての維持を図る
・子どもが遊べる公園が豊富	・公園で鬼ごっこ、陣取り等のイベント開催

その他のいいところ

- バリアフリーの所が増えてきた
- 待機児童がない
- 人口と比較して医療施設は多い
- 中学生まで医療費無料

教育・文化

いいところ	いいところを伸ばすために
【学校教育】 ・教育熱心である。 ・小学生、中学生のあいさつ ・非行が比較的少ない。	・教育設備、環境の充実 ・継続してほしいし、大人もあいさつすること
・学校、PTAが連携した子ども の夢実現への取組が熱心 ・田植え体験	・青少年育成団体への助成金充実による子ども達の育成が 強化 ・幼・保・小・中の学習の中に組み入れる
【文化】 ・誇れる歴史、史跡、文化財 や祭等がある。	・インターネット等を利用してアピールする ・学校で、地元愛を育む地元の歴史をもっと教える ・石橋の史跡巡りツアーを継続実施
・博物館のレベルが高い ・文化面で優れた人が多い。	・九州唯一等コマーシャルを充実する ・市内人材情報の情報提供の充実
【スポーツ】 ・走る人が増えた。	・ランニングコースを整備する ・走りやすい場所、環境をつくる
・松中信彦スポーツミュージ アム	・パブリックビューイングの告知やカフェスペースの設置 等による入館者数の増員を図る
・バドミントン、卓球、野球等 スポーツが盛ん。	・小・中高生のスポーツ等を市で表彰し、子ども達の向上 心の充実や地元の支援についての理解を深める。
・競技場の整備、体育施設が 充実している。	・冬に一軍、二軍キャンプ地の誘致

その他のいいところ

- 不登校対策はシステム化し、充実しつつある。
- 先生、PTAが連携して、教育活動をしている
- 子供が明るく、素直等学校環境が充実している
- 図書館の館長の専門性が高い
- 文化芸能の伝承が出来ている。
- 文化サークル等が多い。
- 生涯スポーツは高齢者の参加が多い
- 全国レベル高校がある（野球、バドミントン、剣道その他）
- 学校の部活動がとてさかん。

その他	
いいところ	いいところを伸ばすために
【地域活動等】 ・ボランティア団体が充実している。 (公共の場への花壇の花配布等) ・みんなどこかでつながっている。 ・地域のきずなが強い。	・花の街づくりを通じた起業育成 ・市民の人の力を活用するボランティアの育成 ・コミュニティ活性化のためのPTAや地区のリーダーの育成等の取組の充実
・まちづくり協議会で様々な活動をしている。 ・各校区でまちづくりが活発	・活動内容のPR 誰もが参加しやすい環境づくりの推進
【行政】 ・市職員の頑張る姿をよく目にする。 ・市の合併で職員同士がうまく行っている。 ・職員の態度がよい。(よく説明してくれる) ・若い人を中心に市職員の市民への対応は非常によい。	・人気投票箱を作って(SNS等からも)年間ランキングを表示する(各部門別でランキング) ・コーチング等でスキルアップになる様なことを市職員へ提供する

その他のいいところ

- 校区民体育祭等、地域コミュニティがある
- 各団体団結力がある
- 公民館からコミュニティセンターへ
- 市報が充実している。

2 「悪いところ」と「悪いところを解決するため」には

産 業	
悪いところ	悪いところを解決するために
【農林水産業】 ・ 農業の衰退 ・ 林業の衰退 ・ 水産業の衰退	・ 後継者の育成のための市の積極的な介入 ・ 高齢化対策としての農業法人化 ・ 全国から嫁とり テレビのイベント告知 ・ シカ、イノシシ被害防止のためのネットの設置充実 ・ 若い人の林業への希望がもてる様な施策 ・ アサリ、のりの採れる海への再生
【工業等】 ・ 地元企業が苦しんでいる ・ 卒業後、就職してくれる企業が少ない	・ 市をあげて企業誘致を推進する ・ 正社員化若者の雇用確保 ・ 中学・高校在学中での企業説明会・研修等の実施 ・ 八代にある会社・企業を身近に感じる施策
【商業・サービス】 ・ 人気チェーン店が少ない ・ 飲食店が少ない (ラーメン屋、魚を出す店等)	・ 八代の食材を売りこむため、チェーン店を誘致する ・ ハーモニーホール等でのハンドメイド展、フリーマーケットの開催 ・ 食べもの等店のホームページの一括作成 ・ 外国人や県外来訪者への食ガイドマップの作成 ・ 鏡オイスター、八代の魚を使った料理を出す店を誘致する。併せて、レシピの紹介 ・ 観光の一環としてJA等に呼び掛けをし、集約大型店舗の誘致(大型駐車場、地産の食事処等)
・ 市外から来る人の買物場所がない。	・ 市外から来る人が増えるタイミング(花火大会等)に臨時に店を出す
・ 商店街に元気がない ・ 大店舗の影響で、小売店等が疲弊している。 ・ ガソリンスタンドが少ない	・ 各週にイベントを計画する ・ クルーズ船を活用した集客を推進する ・ 商業地域の補助金拡大 ・ 若者が集まるような魅力的な店の進出を促す ・ 八代に免税店をつくる ・ 核となる市街地を拠点とした都市計画の作成と実施 ・ 土日限定の空店舗利用を進める ・ HP作成の勉強会や専門企業の力を借りる ・ 道路広く駐車場とる ・ アーケードまでゆめタウンから道を通す ・ 土地、建物所有権等価交換によるスクラップ&ビルド ・ コンパクトシティ化
・ 駅の周囲が閑散としている。	・ 駅一本町の定期便を運行 ・ 駅の近くにお店を増やす(特に新八代)
・ 娯楽施設がない	・ ボーリング場をつくる

	<ul style="list-style-type: none"> ・八代第一映画館の復活やハーモニーホールや総合体育館で試写会を開く
<ul style="list-style-type: none"> ・市民には「八代にはなにもない」という意識が強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報の一元化と周知徹底 ・若者向けのゲーム関係のイベント等を企画する
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本道の駅でのイベントをPRして、八代駅からのバスを出す
<p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光スポットがない、観光客が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地のあらい出しとPRのための「ことりっぴ（ガイドブック）」等への八代情報の掲載 ・春夏秋冬に応じた観光資源をつないだツアーの創設 ・観光ガイド講座を通した市民ガイドの養成 ・テレビ等でのPR (万葉の里、宮地の手すき和紙の見学、体験、五家荘等) ・八代市出身者会議を通して外から見た八代市を考える場を設ける ・八代城をつくる ・観光イベントを1年通じて計画し実行する
<ul style="list-style-type: none"> ・八代港周辺に何も無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大島を含めて滞在型施設の整備 ・税関を充実させ、物流拠点にする。 ・八代港を中心とした観光モデルコースの設定
<ul style="list-style-type: none"> ・海があるのに、海を観光化できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンスポーツができる場所を作る ・海が見える公園をつくる ・舟出浮き等を八代市としてもPRをしていく ・ボートハウスの復活+急流（マリン）スポーツの招致開発+クレオンに宿泊できるようにする ・三ツ島、大築島の観光地化を進める (クルージングや船出浮、キャンプ)
<ul style="list-style-type: none"> ・外国の観光客をよんでも地元企業にまで還元できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け外国語の講習を聞く ・クルーズ船乗り場近くに両替できるところを増やす
<ul style="list-style-type: none"> ・日奈久温泉は元気がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・日奈久温泉への観光ルート（場外馬券場を含めて）をつくる
<p>【農産物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・晩白柚は県外では知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売店の支援として公共の建物、土地等で朝市や夜市等バザー等定期に行う。イメージは築地市場 将来は常設
<ul style="list-style-type: none"> ・トマトはおいしいが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・トマトを利用した商品をつくる（ケチャップ等） ・トマトの情報、販売をまとめて管理する ・販売価格を下げて、自家消費を促す
<ul style="list-style-type: none"> ・オイスターの宣伝不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外からの客に提供できる場を日本各地で増やす ・輸出に力を入れる
<ul style="list-style-type: none"> ・い草が低迷 	<ul style="list-style-type: none"> ・い草の畳表以外での活用 ・公共施設に畳の導入促進 ・後継者育成

その他の悪いところ

- 物産館が他地区に比べて八代は貧弱

都市基盤

悪いところ	悪いところを解決するために
【交通網】 ・公共交通が不便	・バスのCM等PR方法を考える ・バス停に路線図をつける ・バス停を増やす ・レンタカーで八代をまわれるような仕組みを考える ・JRと連携して、八代と各都市をつなぐ割引きっぷをつくる ・新しい交通システムの開発と整備 ・高齢者対策等でのバス路線の充実 （山間部（泉町、坂本町）スクールバス利用（昼間）） ・第3セクター等による山間地における小型バスの導入
・農道と3号線を貫く道が1本しかない	・千丁、鏡に道を作る。橋を造る
・橋が少ない	・都市計画の見直しで人口の分布、車の流れの調査をし、将来必要とされる橋の予算を立てる
・標識が少ないので、場所が分かりにくい	・道路標識を絵やサイン等で分かりやすくする
【住環境】 ・空き家の活用がされていない	・空き家情報を市に登録し、民間企業に斡旋する ・限界集落における空き家利用による寄合場所の設定 ・空き家情報をホームページやペーパーで周知する等集中管理の仕組みづくりやその有効活用を図る

その他の悪いところ

- 山間地等道路幅が狭い
- 八代～松橋間の県道が渋滞する。
- 道の舗装ができていないところがある
- 道がわかりにくい
- 電線の地中化をすすめてほしい。
- 歩道に草が入ってきて歩きにくい所がある
- 観光地と観光地をむすぶ交通網（手段）が発達していない
- 泉、東陽、鏡地区の道路の状態が良くない。
- バス等公共交通において利便性の格差が大きい
- 新幹線の停車回数が少ない。

生活環境

悪いところ	悪いところを解決するために
【安全・安心】 ・五家荘には救急車が来るのが遅い ・防災の意識が低い	・八代版ドクターヘリを常置する ・五家荘への道路を拡充する ・現地防災訓練、地区毎の避難訓練の実施 ・ネット等も含め防災マップを周知させる
【日常生活】 ・買物や病院への利便性が悪い ・子どもや孫と一緒に遊べる場所がない	・スーパーの代わりに山間部等への移動販売の検討 ・ゴミ処理と同じように市が総合的に環境整備を行う。 ・高齢者のためのフリーストップバスの検討 ・公園に木かげをつくる ・大きな公園をつくる
町内放送が良く聞こえない	・スピーカーの数を増やす
【環境衛生】 ・河川、道路にゴミが多い ・蚊が多い	・市政協力員を通して担当課につなぐ ・ゴミの持ち帰り運動を推進する ・処理センター施設等の見学を通して理解を深める ・街灯の整備を推進する
【下水道】 ・下水道の普及が遅れている	・計画通りの進捗を図る
【その他】 ・光回線が繋がっていない地域がある	・光回線の整備を推進する

その他の悪いところ

- 山、川等による災害が多い
- 防災無線が使えない場合の代替策
- 上水道の普及率が低い
- 消防団の人員が少なくなっているので防災面で心配がある
- 家庭によって下水工事が済んでおらず悪臭が気になる
- 街中が汚い（市役所のまわり等草が伸び放題）

健康・福祉

悪いところ	悪いところを解決するために
【福祉全体】 ・民生委員、ふれあい委員のなり手が少ない	・民生委員の報酬の引き上げ
【高齢者】 ・高齢者、独居老人のための生活環境の整備が不十分 ・老人施設的环境に違いがある	・高齢者や子ども等生活弱者への啓発を進めるとともに、交流の場等を通じたコミュニティづくりをする ・高齢者のための健康・レジャー施設をつくる
・高齢者、独居老人の生活環境の整備が遅れている	・特別養護老人ホームの増設が急務 ・シルバーシェアハウス（老人同士が一緒に暮らす家あるいは場所）をつくる ・介護予防の充実による介護、医療費の削減と健康長寿向上の取組を推進する
・老人会加入者が少ない	・スポーツイベントを多くして加入者増を図る ・自然参加が出来るような態勢づくりを通して魅力ある老人会活動を追求する ・老人会役員等リーダーの育成
【子育て】 ・子どもの数が少なくなった	・子どもの数が少ないからできるこそその教育をする。 ・婚活活動をする
・産婦人科医、小児科医が少ない	・熊本総合病院や熊本労災病院並みに市立病院を充実する
・待機児童の解消	・小中学校の空き教室又は敷地内の一角に民間託児施設を設置するための助成制度の創設及び拡充

その他の悪いところ

- 男性が子育てに協力している事を考えた環境づくりが不十分
- 生活保護費が高い

教育・文化

悪いところ	悪いところを解決するために
【学校教育】 ・若者の流出	・就職につながるような総合大学（４年制）を誘致する ・入学式、卒業式等で郷土愛をテーマとした来賓あいさつをしてもらう ・就職できる企業を多くする ・八代にも有名高校をつくる
・小中学校の教育環境の整備が遅れている	・地域住民の見守りの中で、放課後や長期の休みの勉強会や夏休みの公民館での学習会を開く ・遊んでいる田んぼを利用して、高齢者を指導者とした小学生の自然体験を実施する ・八代市独自の人づくりシステムを構築する
・廃校した学校施設の活用が見えない	・民間企業等の誘致を進める
・エアコン等設備の問題	・教育予算を増やして実施する（教育に力を入れれば、人口も増える）
【生涯学習】 ・若者が生涯学習への参加や深く認知する機会が少ない	・生涯学習を若者が参加しやすいようなネーミングにする。
・旧市と旧郡との生涯学習拠点の格差	・指導者を各地に配置する
【文化】 ・厚生会館やハーモニーホールでのコンサートなどが少ない	・自主文化事業への市民の要望を取り入れる
・伝統文化の継承の場が少なくなっている	・ユネスコ登録を受けて積極的に小中学生への継承を学校等に働きかける ・伝統文化を披露する場を増やす
【スポーツ】 ・剣道、柔道する場所が狭い、少ない	・新八代駅周辺への武道館の移転、新築を早期に推進する

その他の悪いところ

- 小中学校の教育環境の整備が遅れている
- スポーツのクラブ（種類）が少ない
- 学校の部活動での外部コーチは長年続けているので問題だと思う
- 子ども会活動は地域によっていきづまっている
- 集落の人口減で学校がなくなる可能性がある
- 外国人の教育者が少ない
- 鏡町の公民館が狭い
- 公民館等公共施設の老朽化が目立つ

その他	
悪いところ	悪いところを解決するために
【コミュニティ等】 ・町内会等地域のつながりが少なくなっている	・町内（校区内）で広報紙を出し、ローカルニュースを発信する ・気軽に参加できるようなイベントを増やす（お花見会、紅葉狩り等）
・子どもと高齢者の交流が少ない	・キャンプ等子どもと大人の合同のイベントを企画する
【定住・移住】 ・若者の出会いの場が少ない	・婚活イベントを活発化する ・中古住宅の販促を行う。
・人集めイベントが低調	・住民交流の活性化のため、お互いを知るイベントをする
【その他】 ・ふるさと納税の物品がわからない	・スリーデーマーチや全国花火大会の開催時にふるさと納税のPRを進める
・中山間地の人口減少が心配	・グリーンツーリズムを企画して県外より呼び込む ・高齢者が買物しやすいよう移動販売車の導入を考える
・鹿等による被害がひどい	・鹿やいのししを使った料理の開発あるいは一ヶ所に集めて観光資源に活用する
・やつしろ草を市の花に	・やつしろ草の販売促進

その他の悪いところ

- 八代が広すぎて、市民でも遠くのことは全くわからない
- いろいろな団体同士がまとまりにくい
- 一斉清掃等への若者の参加が少ない
- 地域内のつながりは強いが、地域外の人たち対してはよそ者扱いする
- コミュニティセンターは実現できていない
- 個人情報保護を厳しくするといざという時に困る

III 10年後の「八代市」

1 将来のやつしろ(政策分野別)

産業

【ブランド化】

●特産物・名産物

- ・全国の人が知っている名産品がたくさんあります
- ・い草、トマト等の生産を増やし、全国に誇る特産物となっています

●トマト

- ・トマトがどこよりもおいしいまち 世界で使われるトマトブランド
- ・トマトラーメンがメジャーになり専門店が増えています
- ・おいしいトマト料理がたくさん食べられるまちになっています

【農林水産業の活性化】

- ・フードバレーの活用で農業はじめ産業全体の活性化を図っています
- ・地域のカ（農業・漁業）を生かした産業が育っています
- ・きれいな水で育った八代産の農作物を使ったおいしい店が増えています
- ・熊本の農業を支える基になっています
- ・球磨川の貴重な水資源により農業産がより豊かになっています
- ・食糧の自給基地として成長しています
- ・海がきれいになり、のり、アサリが取れるようになっています

【地場を含む産業の活性化】

●企業誘致・地場産業振興

- ・八代にあるすべての飲食店がSNSを使っています
- ・IT産業の誘致、活用を図っています
- ・農業と商工業の協同により安定した収入によって躍進しています
- ・企業が誘致され、若い人がUターンでき、地元での就職ができています
- ・八代に生まれ育った子どもたちが八代に残って働けるようなまちになっています
- ・八代の自然を活かした産業が誘致できています
- ・九州の中心都市として企業がたくさん集まっています。

●観光

- ・花火大会、妙見祭で国内外から観光客がいっぱい訪れています
- ・日本一長い川下りができる球磨川でイルミネーションくま川（水中）や球磨川8耐が実施されています
- ・日奈久温泉を中心に八代の山・川・海・食・文化を楽しむ観光客があふれています
- ・日奈久温泉が行きたい温泉ナンバー1になりました（食文化も含め）
- ・大型クルーズ船寄港により県南地域でおもてなしができています
- ・外国人や子どもから大人まで楽しめる年間を通じた観光地になっています

【その他】

- ・デジタル、アナログ両者がつながり、若者が楽しく暮らせています

都市基盤

【交通網の整備】

- ・どこからでもアクセスしやすいまちになっています
- ・自転車で安全に走ることができます
- ・アクセスのよさを活かした交通網により産業・観光の交流基点となっています
- ・全自動運転できる高規格道路が整備されています
- ・八代・天草間に橋がかかり、交通量が多くなり、商店が賑わっています
- ・山から平野を通り抜けて海への道が三本通っています。

【公共交通の充実】

- ・高齢者にやさしい交通システムがあります
- ・町部と山間部を結ぶ交通機関が充実しています
- ・高齢者等がスムーズに移動できるまちになっています
- ・オレンジ鉄道が活躍しています

【住環境の向上】

- ・空き家・空き地が再利用されています
- ・市営住宅が若い家族が低料金で利用できるようになっています

【その他】

- ・外国から大型クルーズ船を通して熊本の良い所が見られるようになっています
- ・行政の分散化による広域の土地の活用が図られています

生活環境

【安全・安心】

- ・防災意識が高く、災害に強いまちになって、安心して暮らしています

【環境衛生】

- ・ゴミの分別が徹底され、ゴミひとつない、きれいなまちになっています
- ・リサイクルの意識が高まり、ゴミを減らし、環境にやさしいまちになっています

【恵まれた自然環境と保全】

- ・災害に対する関心度が高まり、自然環境が保たれています

【その他】

- ・田舎すぎず、都会すぎず住みやすいまちになっています
- ・すべての人に優しいまちになっています

健康・福祉

【医療機能の充実】

- ・ゆりかごから墓場まで、一生八代に住み続けられます

【安全・安心な子育て】

- ・希望する保育園に必ず入れるようになっていきます
- ・産科、小児科の病院が充実し、産むたびに幸せが増える、子育てしやすいまちになっています
- ・パパの子育て参加率日本一になっています

【生涯現役】

- ・温泉利用や総合的健康施設（プール、ジム等）活用を通して健康づくりができています
- ・高齢者と若者、子どもが交流し、楽しく暮らせるまちになっています
- ・高齢者が元気で笑顔で、年金プラスアルファで働き、豊かな生活を送っています
- ・健康で生きがいづくりを感じ、ふるさと八代に愛着を感じています

【地域福祉の充実】

- ・高齢者・障がい者を地域全体で見守り、ともに楽しく暮らすまちになっています
- ・障害者も生き生きと暮らせる差別のない社会ができています
- ・みんなが笑顔で挨拶ができていいる思いやりのあるまちになっています

教育・文化

【八代独自の教育環境】

- ・日本一の教育水準になっています
- ・子どもが地元で安心して教育を受けられるようになっていきます
- ・楽しく快適に学習できる学校になっています
- ・高齢者と共生できる思いやりのある子どもが育っています
- ・全人教育のセンターができています
- ・総合大学ができて、若者達と高齢者が勉強しています。

【いきがいのある人生を学ぶ】

- ・充実した生きがいづくりができています

【若者の定住・移住】

- ・スーパー高校生が八代で働いています

【歴史・文化・スポーツのまち】

- ・八代独自の歴史や文化財を活用する等みんな地元愛にあふれています
- ・スポーツ、文化等の分野で活躍する小・中高生の表彰を通してやりがい、向上心が育っています。
- ・子供から大人まで文化・スポーツに親しみ、いきいきと暮らしています。

その他

【コミュニティ】

- ・市民の力（ボランティア等）を再発見し、活用しています
- ・自治会要望に対する現地との意見交換が充実しています
- ・市民が全力をあげて八代の発展と活力をするため活動しています
- ・地域のつながりが強いまちになっています

【人・モノ・情報交流】

- ・市内全世帯がインターネットを利用しています
- ・人・モノ・情報が上手く行き交うまちになっています
- ・TRPGの題材・作品の原作の題材が豊富です
- ・ケーブルテレビの配信やwi-fiのフリースポットが充実しています
- ・内外の人的交流が頻繁に行われ情報交換で国際化に対応しています

【行政】

- ・市民目線の職員になっています

【その他】

- ・キリシタンの町八代です
- ・八代市と議会の努力で良くなったと言える 名実ともにナンバーワン八代市へ

グループ別に出されたキャッチフレーズ

- ・ SNS (Twitter、Facebook、LINE等) が活用されたまち
- ・ 四季折々の八代市
- ・ 八代を8つ知ろ～、住めば8代続く伝統のまち八代、食のみやこ八代になっています
- ・ 海のまち世界のやつしろになっています <産業・観光・物流・歴史・環境>
- ・ 県南のリーダー都市やつしろ
- ・ 海・山・川・宝の八代市
- ・ 子どもを安心して生み育てられる街
- ・ 魅力ある町づくりで躍動あふれる未来都市八代
- ・ 農業の規模拡大と耕作者の農地の集約化
- ・ 安心・安全で輝く市へ
- ・ 美しい町、八代
- ・ 元気、活量、笑いのたえない八代
- ・ 八代市に生まれて良かった
- ・ 住み慣れた地域で住み続けることができる街
- ・ 八代市、市民で良かったと思えるまちになった。
- ・ 潮騒とせせらぎがひびき合う八代市